

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	社会				
担当者氏名	井上 敏孝				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性 				

《授業の概要》

講義に加え、演習やグループでの協調学習を多く取り入れる。また小学校学習指導要領の読み取りを通して小学校社会科の目標や内容を深く考察する。さらには各学年や分野に合わせた実践事例や授業分析を数多く行うことで、学生が学習活動案を構想する際の視点や留意点について学ぶ機会とする。

《テキスト》

なし。適宜レジュメ・資料を配布する。

《参考図書》

文部科学省検定済み教科書 小学校社会 全学年上下
その他、適宜レジュメ・資料を配布する。
参考文献等はその都度紹介する。

《授業の到達目標》

本講義では、小学校学習指導要領で示された社会科の目標や内容について十分に理解することを目的とする。加えて日本における社会科成立の経緯や変遷を捉え、学校教育における社会科の役割や意義について涵養を図ることをねらいとしている。

《授業時間外学習》

講義内では地図史料を多用するので、日頃から地図の読解に慣れておくこと。

《成績評価の方法》

授業への参加度・貢献度（30%）に発表（20%）とレポート（50%）を加えて総合的に評価する。「レポート評価」では、教科に関する専門的知識の習得度、さらには小学校社会の授業・教材開発に生かす応用力・表現力・発想力を評価の観点とする。5回以上欠席した場合は、レポートを受け付けない。

《備考（教員経験の有無）》

随時発問や活動を加えつつ授業を進めていくので、積極的な姿勢での参加が望ましい。
この教科は中学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	ガイダンス	本授業の概要と授業の進め方、評価方法等についてガイダンスを行う。教育基本法等で示された教育の目的や目標を理解し、学校教育における社会科の役割を概括する。
2	日本における「社会科」の成立過程	「社会科」が誕生した経緯や歴史的背景について理解する。
3	学習指導要領の変遷と社会科	小学校社会科の性格と、学習指導要領の変遷に伴う社会科の変容について系統的に考察する。
4	第3学年の内容①	第3学年における目標と内容について考察する。
5	第3学年の内容②	第3学年における内容の取扱い、指導上の留意点について考察する。また学習活動例を取り上げ、授業分析を行う。
6	第4学年の内容①	第4学年における目標と内容について考察する。
7	第4学年の内容②	第4学年における内容の取扱い、指導上の留意点について考察する。また学習活動例を取り上げ、授業分析を行う。
8	第5学年の内容①	第5学年における目標と内容について考察する。
9	第5学年の内容②	第5学年における内容の取扱い、指導上の留意点について考察する。また学習活動例を取り上げ、授業分析を行う。
10	第6学年の内容①	第6学年における目標と内容について考察する。
11	第6学年の内容②	第6学年における内容の取扱い、指導上の留意点について考察する。また学習活動例を取り上げ、授業分析を行う。
12	地理的分野の内容と方法	地理的分野の目標とその構造について考察する。
13	歴史的分野の内容と方法	歴史的分野の目標とその構造について考察する。
14	公民的分野の内容と方法	公民的分野の目標とその構造について考察する。
15	まとめ	本授業で学んだ内容を総括するとともに、レポート課題について発表する。